



わかとりクラブ鳥取

～とっとり県老連だより～

第29号

■会員数 41,230人
 ■クラブ数 848クラブ
 平成25年4月現在
 ■公益社団法人鳥取県老人クラブ連合会
 〒689-0201
 住所 鳥取市伏野1729番地5
 県立福祉人材研修センター内
 TEL0857-59-6351 FAX0857-59-6340
 http://www.fuumon



岩美町老連のウォーキング大会



八頭町老連のスポーツ交流会

高齢者の福祉増進に寄与
 鳥取県老人クラブ連合会は、昭和三十九年四月に任意団体として発足し、平成二年五月に、民法に基づく社団法人として、法人格を取得しました。

しかし、日本の公益法人制度は、百年以上にわたり、抜本的な見直しが行なわれてなく、様々な問題点が生じてきたことから、時代の変化に対応するため、平成二十年十二月に、いわゆる公益法人改革三法が施行され、平成二十五年十一月末までに公益法人又は一般法人に移行するか、解散するかを選択することが求められてきておりました。

公益法人に移行して

改革の大きな目的は、公益法人としての経営透明化と、それに伴う情報の開示を行うことです。

鳥取県老人クラブ連合会は、高齢者の健康や生きがいづくりを推進し、また、地域や市町村の老人クラブの活動と普及を支援するなど、高齢者の福祉の増進のための公益目的の事業を行う法人として、鳥取県から認定を受け、平成二十五年十一月一日に公益社団法人としてスタートしました。

これを契機に、これまで以上に、老人福祉法の趣旨に則り、老人クラブ活動等のより一層の充実と、高齢者の福祉の増進に寄与するよう努めてまいります。



鳥取県老人クラブ連合会 会長 今岡 祐一

より良い世の中へ

同日、「とっとり教育の日」が県下全市町村、教育委員会、各種団体が参加して発足しました。

運動推進のため、四万二千名の会員を擁する本会に対する期待から副会長に推挙されました。

そのころ、一流ホテルやレスト

ランのメニュー偽装が全国的に発覚して、良心のかけらも見えぬ金銭至上主義の醜態でした。

九十歳から作詩を始め、百二歳で逝去された、柴田トヨさんのベストセラー詩集『くじけないで』の一節「今の世の中 まちがつて いる 正さなければ」の心の痛みと決意が、鋭く胸にこたえます。

高齢者の奉仕活動は、利己私欲をおさえ、公益優先の倫理道德の啓発普及のため、自分自身を利他優先人間に変身する工夫は如何に？

昨年十一月一日に、本会は「公益社団法人」に新生しました。

新しい組織で活動

公益社団法人として
再スタート

鳥取県老人クラブ連合会の概要

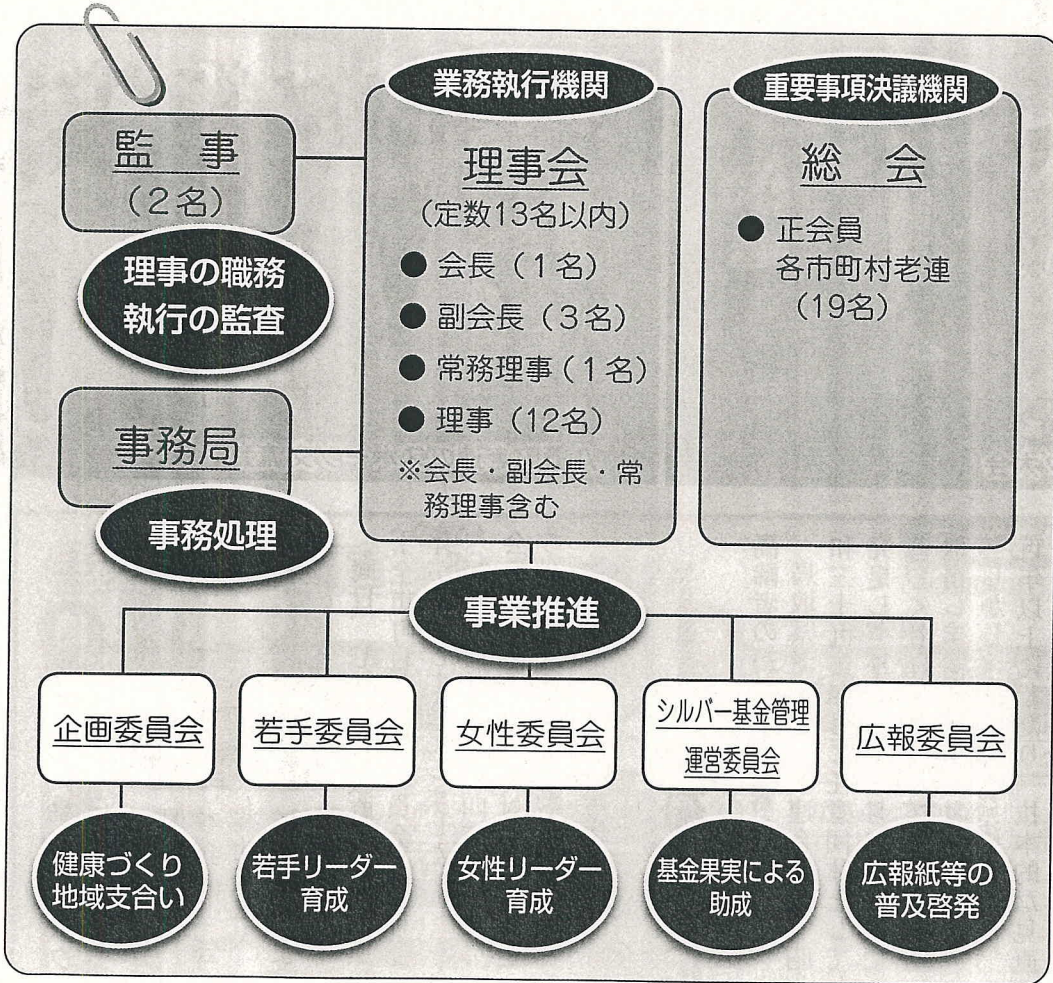
老人クラブは、概ね六十歳以上の者は誰でも加入できる、地域を基盤とする高齢者の自主的組織で、広く地域の高齢者を巻き込んで、健康・生きがいづくり活動、地域で高齢者を孤立させないための活動などを行い、社会的にも大きな役割を果たしています。

この地域の老人クラブ相互の連絡調整を図り、より広域的な共同事業を実施するため、市町村、都道府県、全国の各段階にそれぞれの連合会が組織されております。

鳥取県老人クラブ連合会は、高齢者の健康・生きがいづくりや地域支え合い支援事業、老人クラブの育成指導と活動等啓発広報事業を行い、高齢者の福祉の増進のための公益事業を実施する法人として、平成二十五年十一月一日から公益社団法人としてスタートしました。

組織としては、重要事項を決議する機関として会員（県内各市町村老連）による総会、業務執行機関としての理事会、理事の職務執行を監査する監事があり、法人の

事務処理を行うための事務局があります。さらに、各種事業の企画・立案・推進を図るため、五つの委員会が設置されております。



県老連役員

25年度4名の役員交代がありました。現在の役員は次のとおりです。

◆理事12名

- 会長 今岡 祐一
 - 副会長 竹内 準太郎
 - 副会長 岩本 勝明
 - 副会長 門脇 眞澄
 - 常務理事 小林 裕幸
 - 理事 古井 喜紀
 - 理事 山下 宣昭
- (平成25年6月22日)

◆監事2名

- 理事 竹中 一郎
 - 理事 相見 寿子
 - 理事 知久馬 二三子
 - 理事 佐々木 千代子
 - 理事 小矢野 馨
 - 監事 日下部 武志
 - 監事 浜崎 幸子
- (平成25年7月19日)

「安心安全な社会を」宣言

「いきいきセミナー」

日時 平成25年8月1日
場所 倉吉未来中心

大雨による交通障害にも関わらず、定刻の会場は、約250人の参加者で埋まりました。



プログラム（講演・地域文化活動・活動への提言）の最後に参加者全員で、男女共同参画のクラブ活動を通して、安心安全な住みやすい社会づくりに貢献することを、力強く宣言しました。

（講演）

「地域福祉における老人クラブ活動の意義と今後の課題」

鳥取大学地域学部
竹川俊夫准教授

高齢者の希望は、「住み慣れた地域で安心して暮らし続ける」ことであり、今特に求められるのは「友愛活動」である。活動を持続可能にするための2つの視点。

- ①若手（前期高齢者）人材の確保
 - ②他の地域団体との連携・協働
- （地域文化活動発表）

5つのクラブが地域の特色を生かした文化活動（貝がら節、三朝小唄、鬼太郎音頭、大山ばやし、唱歌・朧月夜など）を元気に披露。

（女性委員会活動への提言）
発表時間3分という制約を全員が守り、堂々とした態度で発表が行われました。

多くの発表に共通していたのは広い視野から老人クラブを取り巻く課題を見つめ、その解決策として、身近な小さな事から、出来ることから一歩ずつ始めようとされていることでした。



女性部と若手委員会の合同発表（米子市）

期せずしてそれは声かけ、誘いかけで仲間づくり、地域の支え合いでした。

（提言者）

- 岸本 国代（鳥取市）
 - 倉田伊早子（八頭町）
 - 谷口 益子（岩美町）
 - 河野 和子（三朝町）
 - 田中 陽子（北栄町）
 - 高力 昭子（琴浦町）
 - 栗木 啓子（米子市）
 - 庄司 正子（境港市）
 - 福吉 艶子（伯耆町）
- 女性委員会活動20年の確かなあゆみを実感した私たちは、仲間づくり、支え合い、男女共同参画のクラブづくりに向けて、新しい一歩を踏み出します。
- （県老連女性委員長 相見寿子）

蒜山ヒルズ リニューアルオープン企画

日帰り 蒜山高原 健康旅行

蒜山の恵み会席

20名様以上の場合
お一人様 **4,800円**

15名様よりバス送迎致します。

料金	19名	18名	17名	16名	15名
	5,200	5,500	5,800	6,100	6,400

○高速道路代は別途ご負担ください。○お飲み物代別途

特典

- ☆蒜山高原温泉 快湯館の入浴券を進呈!
- ☆季節の野菜・果物お土産付き!
- ☆カラオケご用意できます。

天然水工場と蒜山ワイナリー工場見学

サントリー天然水奥大山 プナの森工場見学

蒜山ワイナリー見学 ※試飲ができます。

0867-44-1128 <ご予約・お問合せ>
トマトツアー予約出張所 ホテル蒜山ヒルズ
主催：一般社団法人全国旅行業協会 岡山県知事登録旅行業2-244号
有限会社トラベルシリウス（トマトツアー）

仲間を増やそう 若手委員会の活動

県老連若手委員会

副委員長 加川 重之

平成24年8月、鳥取県版事業
棚卸しで、老人クラブ社会参加
活動促進事業は、廃止判定され
ました。これは、老人クラブ加
入率が2割に落ち込んだことが
大きな要因とされています。棚
卸しでは、老人クラブそのもの
を否定するものではないとした
上で、加入率が低い要因を老人

クラブの活動実態や高齢者のニ
ズから調査分析し、事業を継続さ
せるための方策、さらには、地域
の社会貢献活動の担い手となりう
る老人クラブのあり方などの検討
が必要であると総括されています。
棚卸しに対する是非は別にし
て、鳥取県の老人クラブ会員数を
みてみると、平成9年に会員約
6万2千人(加入率37.5%)が、平
成24年には会員約4万2千人(加
入率20.8%)と大きく会員数が減少
していることは確かなことです。
会員減少に危機感を持つて対処
し、この流れに歯止めをかけるた

めには、団塊の世代に対する加入
促進活動が重要です。そうして若
い高齢者を老人クラブに取り込
だ上で、地域に根付いたクラブ活
動の仲間づくりを目指し、支え合
い、助け合える環境づくりを進め
ていくことが今後は必要です。
県老連若手委員会は、若手会員
の発想を活かし、加入促進、クラ
ブ活性化を図ることを目的に組織
化されました。各市町村老連の支
援、活性化のために、全市町村老
連に若手委員会設置を目指します。
県老連若手委員会では、次の項
目を推進いたします。

- ① 若手会員活動の促進、組織化
- ① 県老連若手委員の出前支援
- ② 未設置老連との交流会
- ③ 若手リーダー研修会へ参加
- ② 若手会員の加入促進
- ① 体験・お試し型事業の促進
- ② 加入しやすい環境づくり
- ③ 若手リーダー研修会の開催
- ① 他市町村老連の活動を学ぶ
- ④ 地域活動の推進
- ⑤ 今後の活動目標
- ① 未設置の町村老連への支援
- ② 市町村老連の交流
- ③ 加入促進運動の推進
- ④ 単位クラブの活性化

新しい挑戦に奮闘中

米子市老人クラブ連合会

会長 今岡 祐一

「人づくり教養公開講座」を隔
月に開催して一月で八回目を迎え
た。若手委員会が主催し、趣旨に
より、文化部、
環境部、女性
部の共催でし
てきました。
試行錯誤が
続き、会長へ
の浸透や会員
外への拡大も
不十分で、苦



心惨たん、奮闘努力中です。

盛り上がった福祉大会

伯耆町老連会長 瀬山 正八郎

本会で最も参加者の多い行事の
一つが、毎年十一月に開催する
福祉大会で
す。午前中
は福祉健康
の講演、単
位クラブの
支え合い活
動事例発表。
午後は演芸、
大正琴、合
唱、日本舞



喜ばれるリサイクル活動

北栄町老人クラブ連合会

副会長

田中 陽子

当クラブは
紙類リサイク
ルに取り組ん
でいます。仕
分け方法等の
学習会の開
催。会員宅に
収集箱の設
置。収集後の



踊、カラオケの熱演で、三百人参
加の会場を盛り上げています。

点検や収集量の計測。

この成果は、燃えるゴミの減少
とゴミ袋の使用枚数減となり、会
員は喜んでいきます。現在も継続し、
地域に定着してきました。

健康づくりと感動づくり 「若桜町健康福祉大会」

若桜町老連会長 谷川 輝久

県老連健康推進員二名のご指導
を頂き、約3kmを歩き、ほどよい
汗を感じました。
八頭町水口人形芝居保存会の人
形浄瑠璃を鑑賞し、初めて見る人
形芝居に感動を受けて好評でし
た。

元気で楽しく積極参加

日南町笠木友楽会会長
山浦 久



旧山上村の単位クラブ笠木友楽会を紹介しします。(会員二十一名) 今から四年前に老人クラブから友楽会に名称を改正しました。
◆年間の主な活動状況◆
日谷神社の大注連縄づくり奉納。神社清掃、春秋研修旅行、グラウンドゴルフ大会、花壇の管理作業、健康教室等のほか、町連合会の主催事業にも積極的に参加することになっています。

毎週月曜日に役員会合

自主運営ボランティア

南部町老連 会長 安達 幸男

私達連合会は自主運営を行って
います。会長、副会長四名、会計、事務局長の七名が毎週月曜日午

前中、町社協の連合会事務所に詰め、準備を行い事業の円滑化を図り、会員や地域高齢者の元気づくりを目標としています。



小学生とのふれあい交流

関金地区老人クラブ協議会
会長 山本 節三



夏休みと冬休みに小学生とふれあい交流を行っています。クリスマス

マツリーの飾りの作成、ゲーム、白玉ぜんざいづくりを楽しみました。夕食はオムライス。子ども達の中に入っての話が弾む。子ども全

若手委員会の活躍で成果

岩美町老人クラブ連合会
会長 日下部武志

当クラブは、若手委員会発足後、委員の方々の発案のもと、ウォーキング大会の実施に積極的に取り組み、大きな成果を上げています。26年は、連合設立五十周年に当たり、若手委員会を中心に大々的な企画のもと、ウォーキング大会を計画中で、今後の会員加入促進に貢献出来る事を期待しています。



スポーツ交流で親睦

八頭町老人クラブ連合会
広報部 岡部 和史

3支部が合併して以来、支部間の交流、親睦を深めることを重点において活動してきました。スポーツ大会に、男女8名ずつの交流チームを派遣し、地元チームと

合わせて10〜11チームが団体、個人種目に、午後の半日を和気あいあいと競技を楽しんでいます。



女性部活動を地域に伝える

湯梨浜町高齢者クラブ連合会
羽合支部女性部長 中川はるこ

羽合支部は年3回各単位クラブから数名の女性リーダーが参加し、各種事業を行います。中でも料理講習は献立が簡単で、美味しいと好評です。食は元気な体の基本。講習で得た知識をたくさんの方に地域会員に伝えることが目的です。

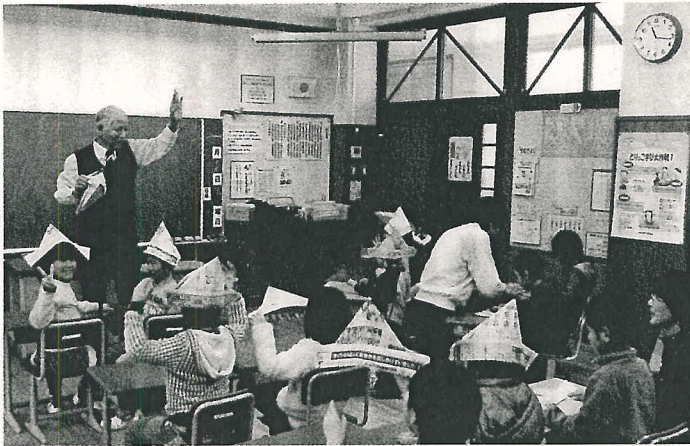


我が自慢の活動

江府町老人クラブ連合会

会長 川上 博久

こどもたちとふれあいのなかで簡単なマジックでもと、日頃思っていたところ、八年前に会社で女性レポーターからお孫さんへ披露されませんかと誘われ、覚えたのが新聞紙によるマジック。王様の命令により小屋、帽子、花、船へと次々と変身します。眼を輝かせて話を真剣に聞き、終わったら満面の笑顔。子どもたちと一緒に過ごす時間はいつもエ(笑)ネル



ギーをいただき、良い子にと祈るばかりです。

大山の一斉清掃で奉仕活動

大山町老人クラブ連合会

会長 黒田 隆弘

国立公園大山は大山町や町民にとつての宝であり、貴重な財産です。この大山が心ない観光客やスキーヤー・登山者のポイ捨てのゴミで汚されています。

大山を愛する多くの皆さんのご協力で、春と秋の「大山一斉清掃」が始まりました。

大山町老人クラブは、当初からこの趣旨に賛同して、「大山一斉清掃」に参加。ポイ捨てのゴミを拾い、大山の美しい自然を守るための奉仕活動に汗を流しています。

この活動が始まって数十年たちましたが、毎回二、三十人の会員の皆さんに協力いただいで参加しています。

今後はこの活動と合わせて、大山の自然を楽しみ、歴史探訪やウォーキング等幅広い活動に発展させたいと考えています。

更に大山の自然を愛する多くの老人クラブ会員の皆さんにもご参加頂き、奉仕活動を通じて大山の自然や歴史を楽しむ活動にしたいと思えます。



我が自慢「鳥取市老人クラブ連合会と若手委員会」

鳥取市老人クラブ連合会

若手委員会 委員長 山本充延

まず、一番に自慢できることは、24年度の新規加入促進による実績です。新規単老7つと新規加入会員517人。今年度も実績をあげています。

また、ニュースポーツ(ペタンク・バウンスポール)を通して、グラウンドゴルフとは異なった楽しみ方を学び、特に60歳代の新規会員の獲得につなげていってはどうか等、若手委員会からの発案で新しいことにも挑戦しています。

いずれにしても、若手委員に対する地区会長、単老会長の理解と協力があります。まだまだ、課題

は多いが、老いも若きも一緒に乗り越えたいもの。

大玉ころがしリレーで4連覇

境港市寿連会長 門脇 眞澄

昨年9月に行われた鳥取県西部地区高齢者健康運動会のメイン競技・大玉ころがしリレーで、わがことぶきクラブ連合会は、意気の合ったチームプレーで、圧倒的な強さを発揮して大会4連覇を飾り、大優勝旗を手にしました。



鳥取県老人クラブ連合会

創立五十周年事業に

ついで

鳥取県老人クラブ連合会は、昭和三十九年四月二日に任意団体として発足し、平成二十六年には、創立五十周年を迎えます。

このことから、平成二十五年五月に開催の理事会、総会において、平成二十六年に記念事業を実施するための企画を、企画委員会と広報委員会が合同で進めることが了承されました。

これまでの検討の中では、

①記念大会の開催
企画委員会委員(六名)、広報委員会委員(二名)若手委

員会委員(一名)、女性委員会委員(一名)の十名による記念大会実行委員会を設置し、記念大会の企画・事業推進を行う。

②記念誌の発行

広報委員会委員(七名)、若手委員会委員(一名)、女性委員会委員(一名)の九名による記念誌検討委員会を設置し、記念誌の企画・事業推進を行う。

ことが確認されております。

平成二十六年に入ったら、事業の具体化に向けて、精力的に進めていきます。

シルバー基金による活動活性化助成事業

鳥取県老人クラブ連合会は、老人クラブ会員の皆さまから拠出されたシルバー基金の果実(運用益)により、老人クラブの活動に対して助成をしております。

助成対象となる事業は、地域の実情に応じて創意工夫された

①「健康づくり・介護予防活動」に関する事業

②「地域支え合い活動」に関する事業

③「会員加入促進活動」に関する事業

④新規加入会員(五名以上)・新規クラブ設置に関する事業で、平成二十五年

度においては、別表のとおり申請があり、基金管理運営委員会で審議された結果、申請どおり助成されることとなりました。

今年度の特徴として、④の事業の申請が多く、新しいクラブ・会員がたくさん増えております。

平成二十六年においては、これらの新しい会員とともに、①③の事業が活発に実施されることが期待されます。

市町村名	実施した事業			左への助成額	④新規会員・クラブ増		左への助成額
	①	②	③		会員増クラブ	新規設置クラブ	
鳥取市		○	○	45,000	42	5	260,000
米子市					19	1	105,000
倉吉市					5		25,000
境港市	○	○		45,000	13		65,000
岩美町		○		30,000	8		40,000
八頭町					3		15,000
若桜町					2		10,000
智頭町					5		25,000
湯梨浜町					1	1	15,000
三朝町							
北栄町					3		15,000
琴浦町					4		20,000
南郷町					3		15,000
伯耆町					4		20,000
日吉津村					4		20,000
大山町							
日南町	○	○		45,000	3		15,000
日野町							
江府町	○	○		45,000	1		5,000
計	3事業	5事業	1事業	210,000	120クラブ	7クラブ	670,000

平成25年度

全老連会長表彰
受賞者

全国老人クラブ大会

(岩手県盛岡市)

平成25年10月1日・2日

【育成功労部門】

元智頭町老連会長

大藤 光美(智頭町)

元八頭町老連会長

野田 誠一(八頭町)

全老連活動賞
受賞団体

【ボランティア活動部門】

昭花クラブ連合会(境港市)

境台場公園の管理とボランティアガイドの他、長年に渡り友愛活動や清掃活動などのボランティア活動で地域に貢献

会員章

●会員章には、

ピタ止式と

タック式の

二種類があります。

◎頒価 一個千円

仲間のしるし

会員章を胸に
活動の輪を広げましょう



編集後記

平成二十五年度日本列島は異常気象に見舞われ、全国各地で台風、集中豪雨等で多大な被害を出しております。県老連も大変な年でした。公益社団法人に移行を目指し、準備を進めてきましたが、十一月に法人認定になりました。我々老連会員は移行の主旨を理解しながら、これまで以上の活動をしていきたいと思います。

広報委員

委員長 山下 宣昭(湯梨浜町) 県老連理事

副委員長 吉田 齊(八頭町) 県老連理事

委員 竹内準太郎(鳥取市) 県老連理事

委員 竹中 一郎(伯耆町) 県老連理事

委員 知久馬二三子(三朝町) 中部地区代表

委員 安達 幸男(南部町) 西部地区代表

委員 相見 寿子(鳥取市) 県老連女性委員長

委員 相見 寿子(鳥取市) 県老連女性委員長

委員 相見 寿子(鳥取市) 県老連女性委員長

委員 相見 寿子(鳥取市) 県老連女性委員長

委員 相見 寿子(鳥取市) 県老連女性委員長

委員 相見 寿子(鳥取市) 県老連女性委員長

委員 相見 寿子(鳥取市) 県老連女性委員長

老人クラブ傷害保険のご案内

平成25年10月1日改定

(平成25年9月1日以降のお申込みから適用)

総合型

24時間いつでも、どこでもケガが心配という方におすすめ

年間掛金 3,500円

日常生活全般のケガを補償

ケガをしたときの状況	総合型 3,500円	
	クラブ活動型	24時間型
死亡保険金	45万円	91万円
後遺障害保険金 ^(注1)	45万円	—
入院保険金日額 ^(注2) (1事故につき30日限度)	1,000円	750円
通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	650円	500円

充実補償の 5,000円、10,000円 もあります。

クラブ活動型

クラブの行事や活動によく出かけるという方におすすめ

年間掛金 500円

クラブ活動中のケガを補償

ケガをしたときの状況	クラブ活動型 500円	
	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合
死亡保険金	45万円	—
後遺障害保険金 ^(注1)	45万円	—
入院保険金日額 ^(注2) (1事故につき30日限度)	1,000円	—
通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	650円	—

充実補償の 1,000円、2,000円 もあります。

総合型のクラブ活動中のケガの場合は、白地 + 薄いグレーの合計 黒色の補償額が支払われます。(注1)後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。(後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の死亡・後遺障害保険金額の4%~100%が支払われます。)
総合型のクラブ活動中以外のケガの場合は、薄いグレーのみの補償額が支払われます。(注2)手術保険金のお支払額は、入院中以外(外来)は、入院保険金日額の5倍または入院中は、10倍となります。

公益 全国老人クラブ連合会 保険係 (取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 電話番号 03-3597-8768
財団法人 東京海上日動火災保険株式会社 FAX番号 03-3597-8767
03-3597-8770 | 受付時間 9:30~17:30 (土、日、祝祭日休) (引受幹事保険会社) 担当課 医療・福祉法人部 法人第二課 電話番号 03-3515-4144

●この広告は老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険・普通傷害保険)の概要についてご紹介したものです。詳細は、「募集案内チラシ(平成25年10月1日始期以降用)」「重要事項説明書」「ご加入の際の注意事項」をお読みください。ご不明な点等がありましたら、取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。全老連保険ホームページ(http://www.senior-ltd.com/)でもご確認いただけます。 13-T-03898 平成25年8月作成

この機関紙は共同募金の助成を受けています。

